



中小企業にとって必要なBCPの取組み

2018年11月21日

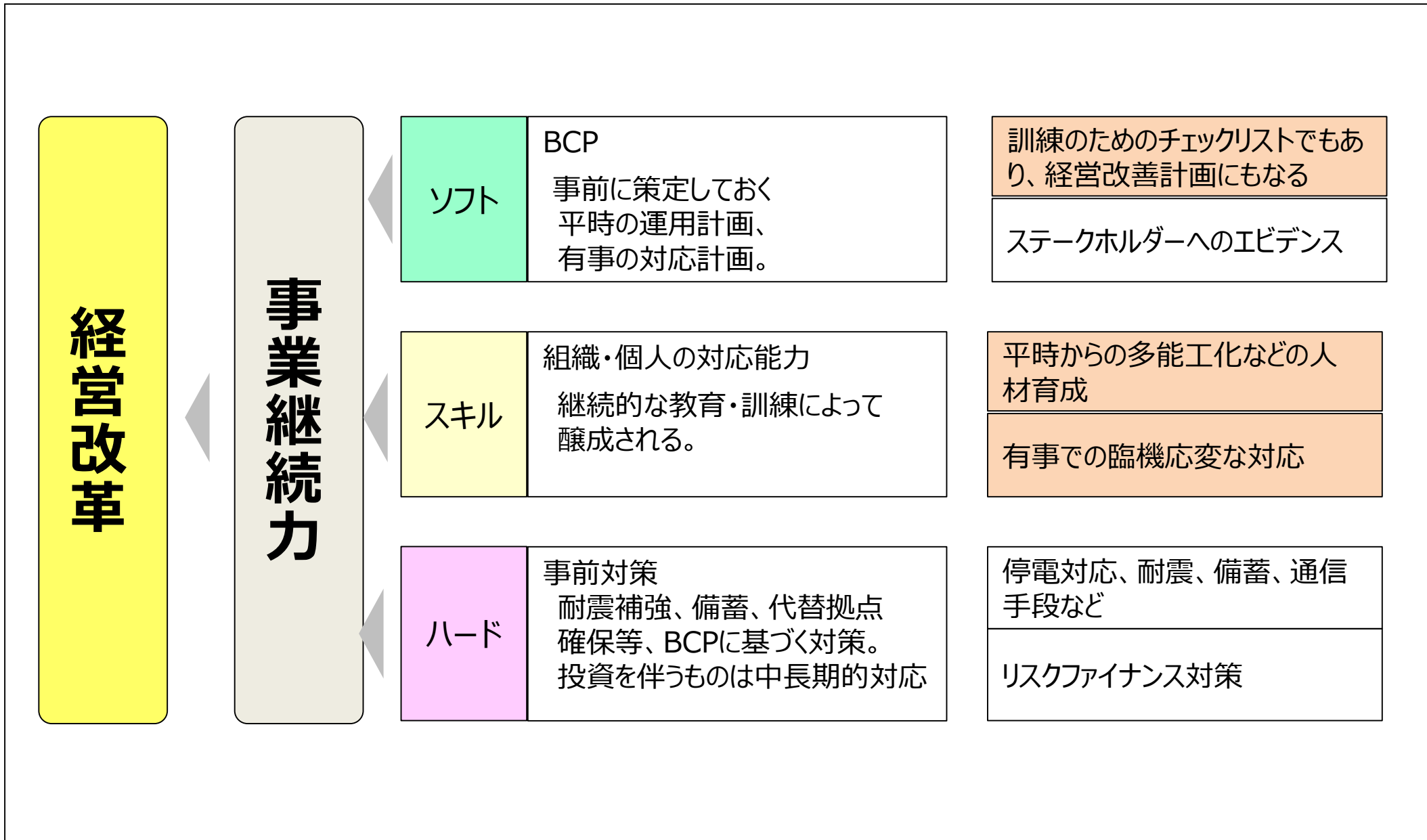
SOMPOリスクマネジメント株式会社

1.事業継続(BC)とは？

事業継続(Business Continuity: BC)の定義

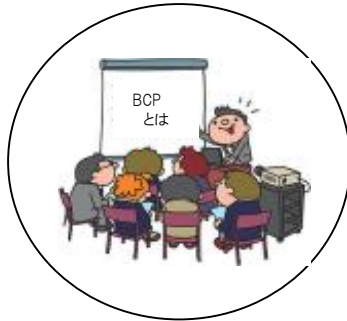
- 企業・組織が、いかなる状況(軽微、甚大、壊滅)に見舞われても、優先順位に基づく重要業務を事業継続戦略を用いて目標復旧時間内に再開し、事業を継続すること
- これにより企業・組織の責任を全うし、不測の自体においても生き残りや発展につなげることを可能とするのが**事業継続(BC)**
- また、事業継続を実現できる企業・組織の力が**事業継続力**である

2. 事業継続力の3要素



3. 中小企業にとって必要なBCPの取組み

企業はBCPを策定



BCPを
公表
し、PR

企業は取引増加、事業拡大



キーワード
平時から経営に
活かせるBCP

4. 中小企業の経営者がBCPに取り組みたくなる3つのキーワード

□ 儲かる BCP ・ 儲ける BCP

供給責任が果たせる会社になったので、経営者が策定したBCPを片手に、取引先を回り、新規取引の獲得、既存取引きの拡大に結び付けていきます。



□ 役立つ BCP

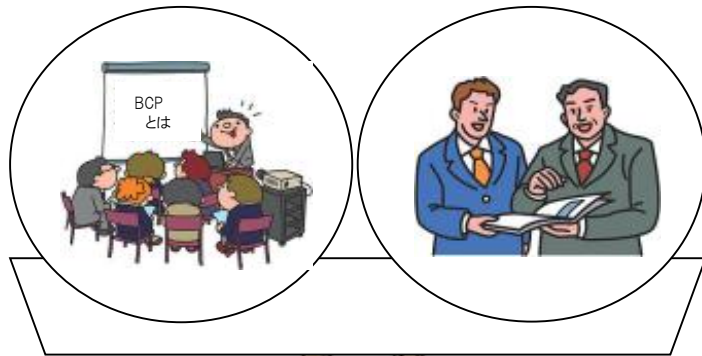
BCP策定により災害・事故等が発生した際には、迅速かつ的確な事業活動に結びつくことは当然です。さらにBCPに取り組むことによって、例えば代替要員確保のための社員の多能工化が進み、業務の効率化に結びついた事例、代替調達のための新たな取引先による調達コストの削減に結びついた事例など**平時に役立つもの**になります。

□ 誇れる BCP

日本の企業はBCPに取り組まれています、当該活動のPRは上手ではありません。お取引先に向けてホームページ(英文HP含む)やマスコミを活用して、**BCPの取り組みを宣伝しましょう**。新たな取引に結びつきます。

5. 商工三団体も会員企業のBCPを支援 共に発展しよう

会員企業は個社のBCPを策定



商工会

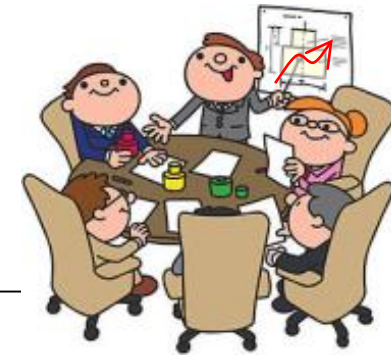
組合

商工会議所

3団体は組合BCPを策定

BCPを
公表
し、PR

会員企業は取引増加、事業拡大



商工会

組合

商工会議所

3団体は会員数増加

6. 災害時に必要な経営資源の順位(大企業と中小企業の比較)

	大企業	中小企業
ヒト	3位	1位
モノ	2位	4位
カネ	4位	2位
情報	1位	3位

小規模企業者は特に社員の安全と資金繰りがポイント

7.1 平時からBCPを経営に活用している事例を知ろう

1. BCPを策定している中小企業5,000社にアンケートを実施(2013年)
2. 274社が自社のBCPを活用して、経営上のメリットを出していることが分かった。
3. その対策をまとめたのが次ページ以降の対策事例、今回は抜粋版を掲載

7.2 BCPの基本方針・重要商品選定・事前対策などを活用してどのように事業拡大(効率化)しますか?

1. 基本方針を活用してどのように事業拡大につなげていくか?
2. 選び出した中核事業をどのように事業拡大につなげていくか?
3. 自社の中核事業の被害想定をどのように事業拡大につなげていくか?
4. 安否確認の仕組みをどのように事業拡大(効率化)につなげていくか?
5. 代替要員確保の仕組みをどのように事業拡大(効率化)につなげていくか?
6. 設備等の耐震対策をどのように事業拡大(効率化)につなげていくか?
7. 代替調達・代替生産をどのように事業拡大(効率化)につなげていくか?
8. 重要データの保管をどのように事業拡大(効率化)につなげていくか?
9. 情報受発信や伝達をどのように事業拡大(効率化)につなげていくか?
10. 緊急時を踏まえた財務診断をどのように効率化につなげていくか?
11. 緊急時の資金繰りをどのように事業拡大(効率化)につなげていくか?
12. BCP発動前の体制をどのように事業拡大(効率化)につなげていくか?
13. BCP発動後の体制をどのように事業拡大(効率化)につなげていくか?
14. 社内にBCPをどのようにして定着(効果を出すため)させていくか?



7.3 基本方針を活用してどのように事業拡大につなげていくか?



- ◇ 自社ホームページに基本方針を開示する
- ◇ 取引先等に自社のBCPへの取組を、マスコミや雑誌等も活用してアピールする
- ◇ 地域貢献活動を積極的に推進する(地域住民との信頼確立)
- ◇ 基本方針を従業員に説明し、平時でも有事でも自らが行動できる従業員を育成する
- ◇ 従業員を交えて、定期的にBCPの基本方針等に関するディスカッションを実施する
- ◇ 自社の基本方針を会合等で講演する(ロータリークラブなどでの講演)
- ◇ 基本方針に沿った事業計画を展開する

7.4 代替要員確保の仕組みを事業拡大(効率化)につなげていくか?

- ◇ 1人の従業員が複数の業務を実施できるようになったことを踏まえ、従業員の新規採用方法を見直す
- ◇ 必要以上にコストがかかっていた外部委託業務を、外部委託からOB活用に切り替える
- ◇ **誰もが業務を実施できるよう業務工程を簡素化する**
- ◇ **組合を通じて、人の貸し借りを協議し、日常業務の一部を他社と共同化する(例:ホテルの送迎バスを共同化し、運転手を効率的に活用する)**
- ◇ **各従業員が実施できる業務とそのレベルを一覧化(見える化)し、教育計画と効果の把握方法を見直す**



7.5 代替調達・代替生産を事業拡大(効率化)につなげていくか?

- ◇ 在庫の積み増しの検討とともに、棚卸の方法を見直す
- ◇ 在庫の積み増しの検討過程で、既存在庫の要不要を判断し、適正な在庫量を設定する
- ◇ 代替生産先となる協力会社を求めるビジネスマッチングの会合に参加する
- ◇ 代替で業務を依頼できる企業と協議を重ね、突発的な業務でも相互に調整ができる仕組みを構築する。お互い様の仕組みを平時から取り入れ経営改善
- ◇ 調達コストの改善のために、複数社からの購買を推進する
- ◇ 外注先の生産能力等を定期的に確認し、状況に応じた注
内容を変更する



7.6 緊急時の資金繰りをどのように事業拡大(効率化)につなげていくか?

- ◇ 地震補償のためBCP地震補償保険等の中小企業が加入しやすい保険に加入する
- ◇ 水害補償も必要なので保険会社に相談し、リスクに応じた保険に加入する
- ◇ 必要な運転資金の不足分を補うために、現金・預金を積み立てる(内部留保を積み立てる)
- ◇ BCPの取組をメインバンクに説明し、低金利の融資へ切り替える



7.7 社内にBCPをどのようにして定着 (効果を出すため) させていくか?

- ◇ 従業員から構成されるワーキンググループでBCPを運用する等、現場から声を吸い上げる仕組みを構築する
- ◇ BCPの診断のみならず、日常業務に係る書類の診断も実施する
- ◇ 既に認証を受けているISO等のマネジメントシステムの体制と連動した運用体制を構築する
- ◇ 従業員向けのBCP研修会の中で、自社の業務をどうするべきかについても合わせて検討する仕組みを構築する
- ◇ 訓練計画の度重なる見直しの結果、出てきたアイデアを他のマネジメントシステムの運用にも活用する
- ◇ 自社のみで実施していたBCP訓練を取引先まで巻き込んだ訓練へとレベルアップする
- ◇ 従業員が自ら考え行動できる力をつけられるよう課題に対してグループで討議する等の訓練を実施する





Innovation for Wellbeing

SOMPOリスクマネジメント